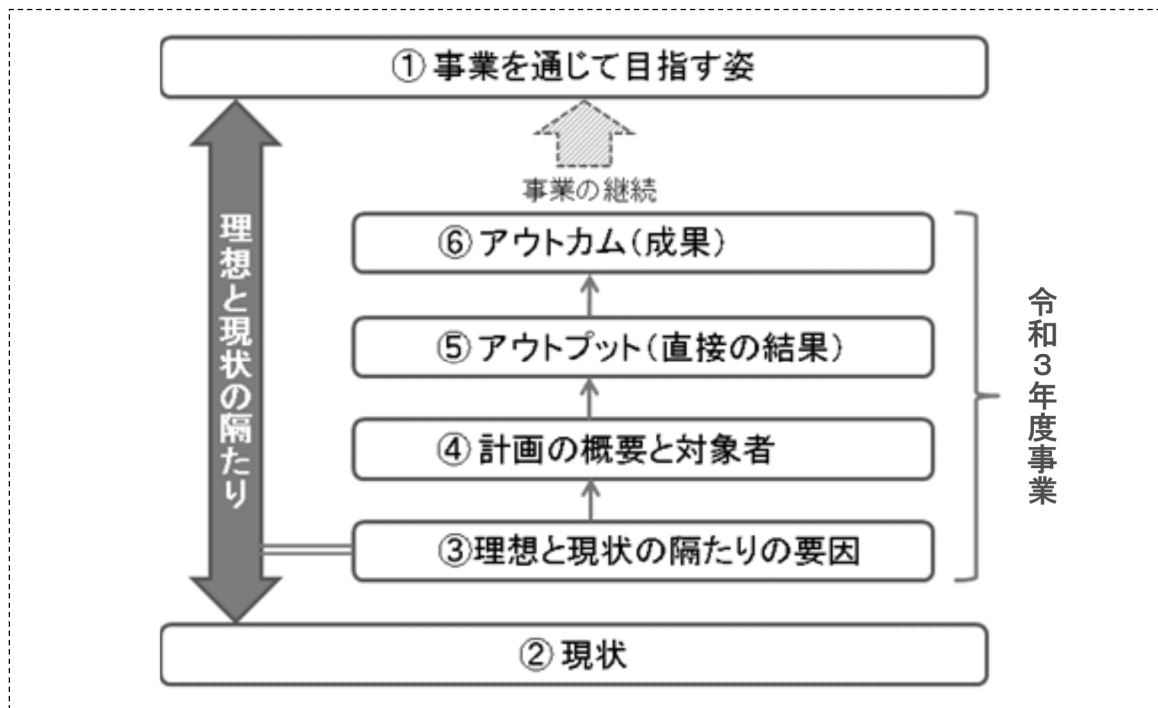


事業計画書

事業名	妊産婦への無農薬・無化学肥料作物の提供事業
団体名	特定非営利活動法人こうのさと

記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

妊娠・出産・育児中の父母の孤立を防ぎ、同じ地域に暮らす人々の連帯の輪の中で、子育てできる環境づくり、関係性づくりを目指す。無農薬・無化学肥料作物を地域の人で作り、倉敷市に住む妊産婦へ週1回・1,000円相当を無償提供する。2026年3月までに倉敷市の出生数約4,000人への提供を目指す。その先には、同じ地域に暮らす人々が妊娠期間中から新しく生まれてくる命との関係性を育み、その誕生を祝福する文化醸成を目指す。

(様式第 1 の別紙 1)

2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

2018 年 9 月の厚生労働省の発表では、周産期の女性の死亡原因の第一位は自殺であり、産後うつによる可能性が高いと報告されている。

行政では「妊婦・子育て相談ステーション すくすく」が妊娠から出産後の子育て支援を行っている。一方で、かつては同じ地域の中で形成されていた、地域の人や先輩ママと自然な形で関わりの中で関係を育む機会は、地域ごとの特色により差がある。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- ・核家族化から始まっている、家庭と地域のつながりの希薄化。
- ・女性の働く環境が整備され、出産直前まで働き、出産後も職場復帰できるようになった反面、家庭と職場以外のつながりが薄れてしまった。^{1 2}
- ・新型コロナウイルスの影響で、リアルに会う機会、集まる機会が失われた。

1：女性の継続就業率は、38.0%（平成 17～21 年に出産）→53.1%（平成 22～26 年に出産）に上昇。〔厚生労働省：令和元年版働く女性の実情〕

2：妊娠 8 ヶ月以降まで勤務した割合 70.9%〔マイナビウーマン 2016 年 5 月調べ〕

4 計画の概要と対象者（令和 3 年度）

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150 字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記 7 に記入してください）。

無農薬・無化学肥料作物を栽培し、週 1 回、1,000 円相当の野菜を、2022 年 3 月までに倉敷市内の妊産婦 100 人へ届ける。助産院を利用している妊婦さんから始める。近くに住む先輩ママとのつながりをつくるため、倉敷、岡山を中心に活動している「お山の会」「Flower Wings」の方に配送していただく。

アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係
事業を実施すると、まず、
というアウトプットが生じ、次にその成果として、
というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施 アウトプット アウトカム

アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット（直接の結果）

令和3年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

倉敷市内の妊産婦へ、妊娠が分かった時点から、床上げにあたる出産後1ヶ月まで、週1回、1,000円分の無農薬無化学肥料野菜を無償で届ける。届ける人数は、2021年4月に20人、徐々に増やし、2022年3月に100人(のべ630人)に届ける。

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
野菜を届ける妊産婦の数	4人	のべ630人(2022年3月単月で100人)
栽培面積、生産量	50㎡、3kg/月	3,000㎡、葉物・根菜 各160kg/月 (一人あたり各400gを週4日×100人)
栽培ボランティア	のべ10人/月	のべ30人/月
宅配ボランティア	0人	のべ126人(2022年3月に20人/月)

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

各取り組みを実施するごとに、実績を記録する。

(様式第1の別紙1)

6 アウトカム(成果)

上記5のアウトプットが、令和3年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

日常的に消費する野菜を宅配することで、継続的に、また、自然な関わりの中で、妊産婦と地域の人、先輩ママとの関係を築ける。身近に相談できる人と、毎週顔を合わせる人がいることで、妊娠、子育て中の不安が和らぎ、安心して子育てできるつながりが生まれる。お腹の中の赤ちゃんは、妊娠期間中から地域の人と新しい生命が関係を育み、その誕生を祝福し、誕生後の成長を見守る地域の輪が広がる。子どもを生みたい、育てたいまちになり、地域の力が強くなる。

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

目標値

倉敷市に住む妊産婦へ週1回・1,000円相当の無農薬無化学肥料野菜を無償提供する。2022年3月までに100名、2026年3月までに倉敷市の出生数約4,000人への提供を目指す。

野菜の生産体制

栽培ノウハウ：倉敷市西坂で自然栽培32年続ける石原農園さんより栽培指導を受ける。

栽培場所の確保：栽培面積3,000㎡必要と試算している。西坂周辺の休耕地を中心に畑を借りる。現時点で1,500㎡借りられる目処が立っているので、あと1,500㎡を近隣の地主の方に依頼し畑を借りる。

生産量：一日あたり20人分、週5日配送で、一週間に100人へ野菜を届ける。一家庭分がおおよそ葉物、根菜各400gなので、8kg/日、40kg/週、160kg/月の収穫を目指す。

野菜の宅配

妊産婦が、気軽に相談できる先輩ママとの関係をつくりたい。そのため、倉敷、岡山を中心に活動している任意団体「お山の会」「Flower Wings」の方に、宅配役を担っていただく。「お山の会」は、乳幼児から小学生が自然環境の中で遊べる場や、お母さんの集まる場づくりをしている。「Flower Wings」は学校給食をオーガニック食材に変える活動をしている。先輩ママ一人につき、5人前後の妊産婦へ、野菜の宅配をしていただく。

運営資金

Google社の非営利団体用の広告プログラムの使用し、会員、寄付を募集する。2021年8月ごろより素材にこだわった食料加工品の販売サイトを立ち上げて、その利益を活動資金に充てる。

(様式第1の別紙1)

(2) スケジュール(準備～実施～報告)

4～3月	畑面積 1,500㎡、4月以前から育てていた野菜から収穫して配達。助産師協会の会員助産師さん、このさとマルシェの来場者、石原農園のお客さん、お山の会の利用者やその紹介から、届ける妊産婦さんの輪を広げる。お山の会やFlower Wingsの先輩ママから、個人宅へ配達。 妊婦さんの人数：4月 20人、7月 40人、10月 60人、1月 60人、3月 100人 配達する先輩ママは、妊婦さん5人あたり1人。 毎月1回このさとマルシェを開催し、妊婦さんと先輩子育て家庭、子ども、地域の人との交流の場をつくる。
6月	畑 1,500㎡を追加で賃借。圃場づくり。
8月	追加の 1,500㎡でも作付け開始。以降、3,000㎡で栽培。
9月	3,000㎡に収穫面積拡大。半年間の中間振り返り
3月	一年間の活動まとめ

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
片岡 徹也	看護師、JICA 青年海外協力隊で母子保健活動に従事	無
中村 聡良	ヤンマーで農業、農業機械関係に従事 15 年	無
木林 京子	小児科医師、一般社団法人「すこやかかわ」代表理事	無
石原 克彦	自然栽培農業歴 6 年、石原家の自然栽培歴は 32 年	無
井上 晃宏	学童指導員 2 年、フリーカメラマン	無
シャノン 香織	助産師、倉敷市の助産院「あいのわ」院長	無
片岡 朋見	保育士、JICA 青年海外協力隊で女性グループ支援活動に従事	無
10 名を超える場合は、外 名としてください		外 () 名

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する(見込み: _____)

(2) 徴収しない(理由: 生活困窮家庭にも野菜を届けるため。無料にすることで事業のインパクトが高くなり、全国からの寄付を集めやすくなると思います。)

(様式第 1 及び第 2 の別紙 2)

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円) ²	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		105,000	寄付、会費、クラウドファンディング
その他		0	
市補助金		300,000	
収入合計		405,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円) ²	積算根拠
人件費(会員) ¹		0	
交通費(会員) ¹		0	
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)		0	
旅費交通費(講師等)		378,000	宅配ボランティア一人あたり 3,000 円/月(750 円/回 x 週 4 回)
消耗品費		10,000	包装袋 2,500 回@4 円
印刷製本費		10,000	野菜お届けカード印刷代 2,500 回@4 円
通信運搬費		0	
保険料		7,000	ボランティア保険 350 円 x 20 名
使用料・賃借料		0	
外注費・委託費		0	
対象経費計		405,000	
食糧費		0	
人件費		0	
その他		0	
対象外経費計		0	
支出合計		405,000	(収入合計と一致)

1 : 会員に支払う人件費交通費は、協働事業部門のみ計上でき、その合算額は対象経費計の 1 割を上限とする。

2 : 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

組織運営体制

団体名	特定非営利活動法人こうのさと (2021 年 1 月登記予定)
ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんこうのさと
法人格 (をつけて ください)	任意団体・ NPO 法人 ・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他()
CANPAN 登録の有無	有 ・ 無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト
以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。
新規チャレンジコースに申し込む団体は, **情報のある項目のみ**記入してください。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2012 年 12 月 (西暦)	
法人格取得年月	2021 年 01 月 (西暦) 予定	
事務所 所在地	倉敷市西坂 683 番地	
代 表 者	職・氏名	片岡 徹也
	電話番号	080 - 3873 - 5523 (連絡可能時間帯 9 : 00 ~ 17 : 00)
ウェブサイト URL	http:// 2021 年 1 月完成予定	
活動地域	倉敷市全域	
役員数・職員数計	5 名 (役員 5 名, 職員 0 名)	
設立年月	2021 年 01 月予定	
活動分野 (該当に をする) (複数回答可)	子ども ・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・ 保健 ・医療・ 教育・学習支援・ 地域 ・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・ 農山漁村 ・中山間・ 助成活動・ 食 ・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ()	
活動目的 (規約等に定めるもの)	持続可能で自然環境への負荷が少ない農業を推進し、安心安全な農作物 を生産できる体制づくりに勤め、その食料をこれから母になる妊産婦に 向けて提供することによって、地域の連帯を醸成していきます。 住民が安心して子どもを育てられ、すべての人々が健やかに暮らせる地 域社会づくりに貢献し、その土地に産まれる命をみんなで祝福する文化 を拓けていきます。	

(様式第 1 及び第 2 の別紙 3)

<p>設立以来の主な活動実績</p>	<p>2012 年 12 月に、団体を設立し、倉敷市西坂で自然栽培農業を 32 年前から行っている石原農園と協働で、餅つきイベントを開始。以降、毎年、季節ごとに田植え、稲刈り、流しそうめん、月見団子づくり、味噌づくりなどのイベントを継続して開催。</p> <p>2019 年 9 月から、石原農園との共催で、古民家こうのさとを活用したマルシェを毎月一回開催し、小学校低学年以下の子どもとその親、地域の人同士のつながりの場をつくる。</p> <p>2020 年 8 月、コロナ禍の妊産婦や乳幼児のいる家庭の孤立を防ぐには、行政や関連団体との連携が必要と考え、NPO 法人設立の発起人会を開催。2020 年 10 月、設立総会を開催し、現在、認可申請中。</p>
<p>現在特に力を入れていること</p>	<p>無農薬・無化学肥料野菜の生産量拡大と、妊産婦への提供。この活動を通して、妊産婦の孤立を防ぎ、赤ちゃんに安心安全な栄養を届ける。</p>

2 団体概要と財政状況

<p>団体の活動・業務 (事業活動の概要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦・乳幼児への無農薬・無化学肥料作物の提供 ・持続可能な農業の実施と、安心安全な食品の流通支援 ・子育て中の父母交流と、子どもが自然の中で遊び学べる場づくり ・食と体、自然と人のつながりを理解し、健康社会を実現する教育
<p>今後の活動の方向性</p>	<p>2022 年 3 月までに、倉敷市在住の 100 名の妊産婦へ、週 1 回 1,000 円分の野菜を、産後 1 ヶ月までの間、無償で届ける。2026 年 3 月末までに、倉敷市の全妊産婦（年間約 4,000 名）に届ける。</p>
<p>最新決算総額 (該当に をする)</p>	<p>100 万円未満・100～500 万円未満・500～1,000 万円未満・1,000～5,000 万円未満・5,000～1 億円未満・1～5 億円未満・5 億円以上</p>
<p>定期刊行物</p>	<p>なし</p>

3 活動概要と協働実績

<p>助成金・補助金等の支援を受けた実績</p>	<p>なし</p>
<p>他 NPO・市民活動団体との協働実績</p>	<p>なし</p>
<p>企業・団体との協働実績</p>	<p>石原農園（倉敷市西坂で自然栽培農業を 32 年実践されている農家）</p>
<p>行政との協働実績(委託事業など)</p>	<p>なし</p>

(様式第 1 及び第 2 の別紙 3)